

**臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同  
出生・発達分科会（第26期・第20回）  
議事要旨**

1. 日 時 令和7年7月17日（木）9:30-10:45

2. 会 場 オンライン会議（zoom）

3. 出席者（五十音順）

高橋尚人（以上、会員）

神尾陽子、船曳康子、水口 雅、水野紀子、武藤香織、米村滋人（以上、連携会員）

笹月桃子（連携会員（特任））

4. 議事録作成者 高橋 尚人

5. 議事概要

（1）日本学術会議シンポジウムないしフォーラム開催

2026年2月から3月にかけて、日本学術会議講堂を使用し、シンポジウムないしフォーラムを開催することとした。3時間程度の予定で、午前か午後のいずれかとし、平日ないし休日のいずれをも候補とし、今後日程調整を行うこととした。もしシンポジウムとして行う場合、新生児生命倫理研究会の世話人に協力を依頼することとし、武藤委員からオンライン関係の操作に協力できる旨の話があった。

（2）見解案作成の今後のスケジュール

7月31日までに各委員がそれぞれに概ね担当する箇所について修正案を委員長まで送ることとし、8月19日までには文献と資料もまとめ、やはり委員長まで送ることとした。その後、委員長が最終案を完成し、8月29日の分科会会議で委員の最終的な了承を得る方向とした。

上記の日学講堂を使ったシンポジウムないしフォーラムについて、幹事会の承認が得られるように、委員長が期限までに申請することとした。

（3）「現代の新生児医療における倫理的意思決定基準および代理意思決定の考え方」見解案の検討

委員長が見解案（資料1と2）と図（資料3）をもとに今回の修正について全体にわたり説明を行った。米村委員より「法的側面」の部分の修正について質問があり、今後、水野委員と修正案を作成する方向とした。神尾委員より「新生児期以降にも長期的医療・養護

を要する児」について質問があり、「早産児の神経発達症」は一つの項目として独立させ、同時に「医療的ケア児」についても独立させることにした。

(4) 日程調整

11 月開催の第 69 回日本新生児成育医学会学術集会の中で、行われるこの見解案についてのシンポジウムをどのように進めるか、今後、参加予定の熊谷、高橋、島藺、米村、笹月の委員で話し合いをする場の日程調整を委員長の高橋が行うこととした。

また、日本学術会議シンポジウムないしフォーラムの日程調整も会議後に高橋から行うこととした。

(5) その他

特になし

以上